

経緯・経過

ロードマップ

年	月	日	項目	内容等
平成26年	8	1	地域福祉フォーラムinたいない(新潟県胎内市)	牧里先生より日光市開催の意向確認
平成27年	3	25	日光市社協地域福祉研修会(職員研修)	小地域福祉活動の重要性とサミット開催の意義についての講話
	3	26	牧里先生と日光市社協会長の顔合わせ	
	4	15	サミットinくろべ実行委員会・企画運営委員会	視察(委員会の運営方法等)
	11	26~27	サミットinくろべ参加	視察・参加(9名参加)
平成28年	1	15	サミットinくろべ企画運営委員会	視察(実施後の対応等)
	3	29・30	日光市社協理事会・評議委員会	サミット開催、実行委員会設置の承認
	4	15	サミットinおかざき・西三河実行委員会・企画運営委員会	視察(設立準備、運営等)
	6	2	日光市社協事務局会議	企画概要(日程、会場等)、予算、組織体制の確認等
	6	2	栃木県社協、栃木県共同募金会訪問	協力、支援要請
	6	12	プロジェクト会議① (日光市社協・栃木県社協共同事務局)	実行委員会設立準備
	7	19	プロジェクト会議②	企画コンセプト検討、委員等の選出、スケジュールの調整等
	8	15	プロジェクト会議③	委員会の進め方、スケジュール調整等
	8	26	共催依頼	
	8	31	実行委員依頼(通知)	
	9	13	企画運営委員依頼(通知)	
	9	21	プロジェクト会議④	予算編成、委員会の進め方
	10	18	プロジェクト会議⑤	委員会の最終確認
	10	19	第1回実行委員会・第1回企画運営委員会	委嘱状交付、役員選出、事業計画・収支予算の承認ほか
	10	19	Facebookページ開設	https://www.facebook.com/nikkosummit2017/
	10	22	下野新聞(県北版)記事掲載	
	10	31	日光市社協事務局(職員)会議	組織体制、事業計画等の確認
	11	7	プロジェクト会議⑥	企画概要の調整
	12	12	プロジェクト会議⑦	委員会の進め方
	12	16	第2回企画運営委員会	テーマ等の確認、企画づくり
	12	19	岡崎市・岡崎市社協訪問	運営等、クロージング確認
平成29年	1	16	チラシ(第1弾)完成	サミットinおかざき・西三河にて頒布
	1	21	サミットinおかざき・西三河参加	視察・参加(15名参加)
	1	23	プロジェクト会議⑧	企画書の確認、調整
	2	6	プロジェクト会議⑨	委員会の進め方、次年度のスケジュール調整等
	2	24	第3回企画運営委員会	企画づくり

年	月	日	項 目	内 容 等
平成29年	3	2	プロジェクト会議⑩	企画書（概要）の決定、登壇者との調整 事項整理、名鉄観光サービス打ち合わせ
	3	8	平成28年度小地域福祉活動セミナー	チラシの頒布、PR
	4	1～30	日光市内福祉団体等の会議	周知、チラシの頒布
	4	14	全体会企画会議	基調講演、シンポジウム企画づくり
	4	18	プロジェクト会議⑪	委員会の進め方、広報活動の調整
	4	26	第4回企画運営委員会	企画概要の確認、広報研修（企画タイトル）等
	5	1	名鉄観光サービス打ち合わせ	会場予約状況確認、宿泊企画等
	5	11	全体会企画会議	企画調整
	5	24	プロジェクト会議⑫	委員会の進め方、企画概要の最終確認、 会場調整、名鉄観光サービス打ち合わせ
	5	25	日光市社協会長打ち合わせ	
	6	1	第2回実行委員会	企画概要（開催要綱）の決定
	6	1	全体会企画会議	基調講演打ち合わせ、ふくしとちぎ取材対応
	6	8	後援依頼（後援名義使用申請）	
	6	14	名鉄観光サービス打ち合わせ	宿泊企画等
	6	15	チラシ（第2弾）完成	
	6	16	ホームページ開設	https://nikkosummit.jimdo.com/
	6	16	登壇者（講師等）依頼（通知）	
	6	18	下野新聞（県北版）記事掲載	
	6	19	チラシ（第2弾）発送	全国の関係機関等への発送
	6	27	プロジェクト会議⑬	広報活動、宿泊・交流会の調整等
	6	28～29	平成29年度社会福祉協議会活動全国会議	チラシ頒布（依頼）
	7	5	平成29年度自治体職員向け理解促進講座	チラシの頒布、PR
	7	10	ふくしとちぎ7月号記事掲載	
	7	13～14	第8回赤い羽根全国ミーティング	チラシの頒布、PR
	7	13～14	第54回関東ブロック郡市区町村社協職員 合同研究協議会	チラシの頒布、PR
	7	25～26	平成29年度全国福祉教育推進セミナー	チラシ頒布（依頼）
	7	下旬	栃木県社会福祉士会、日本ボランティア コーディネーター協会へのチラシ頒布依頼	会員への頒布（依頼）
	8	4	開催要綱（募集）完成	
	8	7	開催要綱（募集）発送	全国、県内・市内の関係機関等への発送
	8	10	第5回企画運営委員会	広報活動、登壇者との最終調整等
	8	17	プロジェクト会議⑭	参加申込状況の確認、スタッフ体制の調整

年	月	日	項 目	内 容 等
平成29年	8	18	会場（藤原公民館）打ち合わせ	駐車場等の確認
	8	24・28	日光市社協理事会・評議員会	中間（進捗状況）報告
	8	25	広報にっこう9月号記事掲載	
	9	4	全社協、中央共同募金会、日本NPOセンター、福祉新聞訪問	広報活動、地域の福祉力セミナー打ち合わせ（全社協）
	9	6	オープニング・クロージング企画会議	企画構成の検討
	9	26	プロジェクト会議⑮	参加申込状況の確認、運営マニュアルの検討等
	10	6	会場（藤原総合文化会館）打ち合わせ	会場配置、スケジュール等の確認
	10	13	下野新聞（県北版）記事掲載	参加申込期限延長（～10/20）
	10	20	参加申込締め切り	
	10	25	第6回企画運営委員会	分科会会場の決定、当日の運営確認等
	10	31	プロジェクト会議⑯	各会場の下見、打ち合わせ
	11	1	参加者分科会決定	
	11	2	参加証等発送開始	
	11	7	日光市社協会長打ち合わせ	
	11	13	第3回実行委員会	参加申込状況の報告、当日の運営確認等
	11	13	全体会企画会議	最終確認
	11	13	プロジェクト会議⑰	準備物等の確認、課題の洗い出し
	11	20	日光市社協事務局（職員）会議	当日の運営確認等
	11	29	前日準備	
	11	30	当日（1日目）	
	12	1	当日（2日目）／地域の福祉力セミナー	
	12	1	下野新聞（県北版）記事掲載	
	12	4	礼状送付（登壇者、共催、後援等）	
平成30年	1	17	ふくしとちぎ1月号記事掲載	
	1	19	第7回企画運営委員会	サミット振り返り、総括
	2	28	報告書完成	
	3	7	実行委員会会計監査（予定）	会計監査
	3	27	第4回実行委員会（予定）	事業報告、決算報告、総括
	3	27・28	日光市社協理事会・評議員会（予定）	事業報告

参加状況

参加者・登壇者・実行委員等

【参加者】

項目	人数		
申込者数※ ¹	846名		
講師等（登壇者）※ ²	40名		
実行委員・企画運営委員	47名		
事務局・スタッフ等	32名		
その他出演、オブザーバー等※ ³	45名	総計	1,010名

※1）参加申込人数は866名（取消料発生後の取消・当日欠席20名）。

※2）実行委員・企画運営委員の登壇者3名を除く。

※3）出演者（司会、記録、手話通訳者、舞台演出者、ブース出店者）39名、共催・後援者6名。

【都道府県別人数】

北海道	0	滋賀県	0
青森県	1	京都府	15
岩手県	0	大阪府	63
宮城県	11	兵庫県	3
秋田県	1	奈良県	2
山形県	1	和歌山県	1
福島県	15	鳥取県	4
茨城県	7	島根県	0
栃木県	537	岡山県	2
群馬県	7	広島県	3
埼玉県	31	山口県	0
千葉県	5	徳島県	0
東京都	7	香川県	0
神奈川県	3	愛媛県	0
新潟県	19	高知県	5
富山県	7	福岡県	3
石川県	0	佐賀県	0
福井県	1	長崎県	1
山梨県	0	熊本県	1
長野県	2	大分県	2
岐阜県	28	宮崎県	3
静岡県	3	鹿児島県	2
愛知県	33	沖縄県	15
三重県	2	合計	846

（→日光市 260）

【分科会別】

分科会	人数
①	191
②	57
③	66
④	77
⑤	38
⑥	96
⑦	81
⑧	68
⑨	30
⑩	129
2日目のみ	13
合計	846

交流会	285
-----	-----

（→関係者 72）

登壇者

実践報告者・コーディネーター等

No.	氏名	所属	役職	区分	役割
1	牧里 毎治	関西学院大学 関東学院大学	名誉教授 客員教授	基調講演 シンポジウム	講師 コメンテーター
2	大類 智枝	えがおをつなぐとちぎ木育の会	会長	分科会①	実践報告者
3	土田 忠明	とうふの会	会長	分科会①	実践報告者
4	西澤 淑恵	まちの縁側育みプロジェクトながの	事務局	分科会①	実践報告者
5	大石 剛史	国際医療福祉大学 医療福祉学部	准教授	分科会①	コーディネーター
6	中山 京	あしお民立こども大学	代表	分科会②	実践報告者
7	加納 麻紀子	NPO法人 くまの木 里の暮らし	事務局長	分科会②	実践報告者
8	川本 健太郎	立正大学 社会福祉学部	講師	分科会②	実践報告者
9	畠山 由美	認定NPO法人 だいじょうぶ	理事長	分科会③	実践報告者
10	(匿名)	Your Placeひだまり	卒業生	分科会③	実践報告者
11	石田 聡	(株)下野新聞社 那須塩原支局	支局長	分科会③	実践報告者
12	石井 大一郎	宇都宮大学 地域デザイン科学部	准教授	分科会③	コーディネーター
13	水野 嘉子	にっこう認知症・若年性認知症の家族の会	副代表	分科会④	実践報告者
14	水野 貴美子			分科会④	実践報告者
15	老門 泰三	土橋町内会 宮前第二地区社会福祉協議会	副会長兼環境衛生部長 会長	分科会④	実践報告者
16	永島 徹	NPO法人風の詩	社会福祉士	分科会④	コーディネーター
17	横田 能洋	認定NPO法人 茨城NPOセンター・コムズ	代表理事	分科会⑤	実践報告者
18	椎名 保友	NPO法人日常生活支援ネットワーク	障害者生活支援活動 コーディネーター	分科会⑤	実践報告者
19	廣瀬 隆人	(一社)とちぎ市民協働研究会	代表理事	分科会⑤	コーディネーター
20	関本 昭	川治自治会	会長	分科会⑥	実践報告者
21	高山 弘毅	Nukiito	代表	分科会⑥	実践報告者
22	李 仁鉄	NPO法人 にいがた災害ボランティア ネットワーク	理事長	分科会⑥	コーディネーター
23	小栗 卓	スマイル日光プロジェクト	会長	分科会⑦	実践報告者
24	石綱 秀行	NPO法人福聚会 和久井亭	管理者	分科会⑦	実践報告者
25	長浜 洋二	(株)PubliCo	代表取締役CEO	分科会⑦	コーディネーター
26	長沢 恵美子	1%クラブ	事務局次長	分科会⑦	コメンテーター
27	小倉 孝司	日光市立足尾中学校	教諭(地域連携教員)	分科会⑧	実践報告者
28	軸丸 政代	大阪市北区社会福祉協議会	地域福祉担当主査	分科会⑧	実践報告者
29	新崎 国広	大阪教育大学 教育学部	教授	分科会⑧	コーディネーター
30	平 英一	川俣みらい委員会	前委員長	分科会⑨	実践報告者

No.	氏名	所属	役職	区分	役割
31	藤田 凌平	NIKKO高校生ボランティアネットワーク	今市工業高校2年	分科会⑨	実践報告者
32	山越 瑞貴	NIKKO高校生ボランティアネットワーク	今市工業高校2年	分科会⑨	実践報告者
33	永田 祐	同志社大学 社会学部	准教授	分科会⑨	コーディネーター
34	野田 久美子	ラ・ピスタささえ愛ネット	役員	分科会⑩	実践報告者
35	板東 克子	ラ・ピスタささえ愛ネット	役員	分科会⑩	実践報告者
36	田山 眞知代	ラ・ピスタささえ愛ネット	役員	分科会⑩	実践報告者
37	松永 致和	ラ・ピスタささえ愛ネット	役員	分科会⑩	実践報告者
38	徳谷 章子	NPO法人 ハートフレンド	代表理事	分科会⑩	実践報告者
39	勝部 麗子	豊中市社会福祉協議会	福祉推進室長	分科会⑩	ファシリテーター
40	宮地 ゆみ	久次良町自治会	副会長	シンポジウム	シンポジスト
41	佐藤 貞良	磯長台の福祉を考えるつどい	代表	シンポジウム	シンポジスト
42	小松崎 登美子	たまり場・たろう	代表	シンポジウム	シンポジスト
43	藤井 博志	関西学院大学 人間福祉学部	教授	シンポジウム	コーディネーター

実行委員会

実行委員

No.	役割	氏名	所属	所属役職	備考
1	名誉会長	牧里 每治	関西学院大学 関東学院大学 小地域福祉活動を楽しむ全国ネットワーク	名誉教授 客員教授 代表世話人	
2	会長	斎藤 文夫	日光市社会福祉協議会	会長	日光市長
3	副会長	高橋 務	日光市社会福祉協議会	副会長	日光市自治会連合会長
4	副会長	黒川 貢	日光市社会福祉協議会	副会長	日光市福祉ボランティア 団体協議会長
5	役員	京井 陸奥夫	日光市民生委員児童委員協議会連合会	会長	
6	役員	安西 義治	日光市 健康福祉部	部長	
7	役員	齋藤 禎	栃木県社会福祉協議会 地域福祉部	部長	
8	役員	増山 寿生	栃木県共同募金会	常務理事兼 事務局長	
9	役員	佐藤 栄治	宇都宮大学 地域デザイン科学部	准教授	
10	監事	吉田 國男	日光市肢体不自由児者父母の会	会長	日光市社会福祉協議会 監事
11	監事	中田 剛史	足利銀行 今市支店	支店長	日光市社会福祉協議会 監事

実行委員会

企画運営委員

No.	役割	氏名	所属	所属役職	担当
1	リーダー	小栗 卓	スマイル日光プロジェクト	会長	オープニング・クロージング
2	サブリーダー	池田 正典	社会福祉法人大恵会	本部事務担当	全体会
3	委員	竹澤 貴子	今市手話通訳者会	代表	分科会⑤
4	委員	前田 利一	NPO法人だいじょうぶ	理事	分科会③
5	委員	中村 吉野	あがおをつなぐ木育の会	副会長	分科会①
6	委員	揚石 達也	市民		分科会②
7	委員	本橋 隆史	グループホームあかね	施設長	分科会④
8	委員	添野 哲哉	日光青年会議所	直前理事長(H29)	分科会⑦
9	委員	沼尾 綾乃	市民		分科会⑥
10	委員	小倉 孝司	日光市立足尾中学校	教諭	分科会⑧
11	委員	小島 宏陽	栃木市社会福祉協議会	主任	オープニング・クロージング
12	委員	菊池 浩史	鹿沼市社会福祉協議会	主査	分科会④
13	委員	神山 大	鹿沼市社会福祉協議会	主任	分科会⑦
14	委員	大場 いづみ	大田原市社会福祉協議会	主査	分科会⑧
15	委員	曾根 駿介	那須烏山市社会福祉協議会	主事	分科会②
16	委員	北井 孝文	市貝町社会福祉協議会	事務局次長	分科会⑥
17	委員	木下 博之	那須町社会福祉協議会	主査	分科会①
18	委員	池田 秀昭	栃木県共同募金会	主任	分科会⑤
19	委員	今井 厚	栃木県社会福祉協議会	主査	全体会
20	委員	桧原 賢一	栃木県社会福祉協議会	主任	分科会③
21	委員	吉澤 利明	栃木県社会福祉協議会	主任	分科会⑨
22	委員	橋本 和重	栃木県社会福祉協議会	主事	分科会⑩
23	委員	土崎 雄祐	宇都宮大学地域連携教育研究センター	特任助教	分科会⑤
24	委員	野原 康弘	うつのみや市政研究センター	嘱託研究員	分科会⑨
25	委員	伊藤 友紀	日光市社会福祉協議会	副主幹	分科会⑤
26	委員	阿部 修一	日光市社会福祉協議会	副主幹	全体会
27	委員	渡邊 裕子	日光市社会福祉協議会	主査	分科会③
28	委員	柴田 公美	日光市社会福祉協議会	主査	分科会①
29	委員	塩生 真里子	日光市社会福祉協議会	主査	オープニング・クロージング
30	委員	青木 賢輔	日光市社会福祉協議会	主査	分科会②

No.	役割	氏名	所属	所属役職	担当
31	委員	篠原 直也	日光市社会福祉協議会	主査	分科会④
32	委員	荻原 章宏	日光市社会福祉協議会	主査	分科会④
33	委員	齋藤 直基	日光市社会福祉協議会	主査	分科会⑦
34	委員	石下 真紀	日光市社会福祉協議会	主任	分科会⑥
35	委員	池田 修也	日光市社会福祉協議会	主事	分科会⑨
36	委員	松田 大樹	日光市社会福祉協議会	主事	分科会⑧

【事務局】

No.	役割	氏名	所属	所属役職	担当
1	事務局長	高橋 一弘	日光市社会福祉協議会	事務局長	
2	事務局次長	細川 努	日光市社会福祉協議会	事務局次長	
3	事務局員	松本 昌宏	日光市社会福祉協議会	室長	
4	事務局員	中村 哲也	日光市社会福祉協議会	主査	
5	事務局員	白石 悠太	栃木県社会福祉協議会	主事	
6	アドバイザー	長井 一浩	NPO法人 明日育	常務理事	

実行委員会

会則

実行委員会会則

(名 称)

第1条 この組織は、第11回全国校区・小地域福祉活動サミット in NIKKO実行委員会（以下、「本会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 本会は、「第11回全国校区・小地域福祉活動サミット in NIKKO」の円滑な運営を期するため、必要な事業を行うことを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 事業計画及び収支予算に関すること
- (2) 事業報告及び収支決算に関すること
- (3) 会則の改廃に関すること
- (4) その他本会の運営及び目的達成に必要な事項

(構 成)

第4条 本会の役員は、第2条の目的に賛同する有識者やボランティア、行政、地域団体、地域福祉に関する団体で活動する者及び市民等をもって構成する。

(役 員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 名誉会長 1名
- (2) 会 長 1名
- (3) 副会長 2名
- (4) 委 員 10名以内

2 名誉会長は、平成28年度開催に関わった代表世話人をもって充てる。

3 会長は、社会福祉法人日光市社会福祉協議会長をもって充てる。

4 副会長は、役員の内から会長が指名する。

(監 事)

第6条 本会に、監事を置く。

2 監事は、会長が委嘱する。

(職 務)

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたとき、その職務を代理する。

3 役員は、会務を審議し、運営する。

4 監事は、本会の会計その他の事務を監査する。

(任 期)

第8条 役員及び監事の任期は、本会の解散の日までとする。ただし、任期中に異動等が生じた場合は、前任者の残任期間をもって後任者の任期とする。

(会 議)

第9条 本会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 本会の会議の議決は、役員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席した役員数の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは議長の決するところによる。

3 やむを得ない理由により本会に出席できない役員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は代理人に表決を委任することができる。この場合において、前項の適用については本会に出席したものとみなす。

(専決処分)

第10条 会長は、本会を招集する時間的制約があるとき、その議決すべき事項を専決処分することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを本会に報告し、その同意を求めなければならない。

(企画運営委員会)

- 第11条 第3条の事業の円滑な推進を図るため、
本会に企画運営委員会を置く。
- 2 企画運営委員会に属すべき者は、会長が委嘱する。
 - 3 企画運営委員会は、専門的な事項を検討する。
 - 4 企画運営委員会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

- 第12条 本会の事務を処理するため、事務局を社会福祉法人日光市社会福祉協議会に置く。
- 2 事務局には、事務局長及びその他の職員を置き、会長がこれを選任する。
 - 3 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

- 第13条 本会の経費は、参加者負担金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

- 第14条 本会の会計年度は、平成28年10月19日から始まり、平成30年3月31日に終わる。

(解散)

- 第15条 本会は、第2条の目的が達成したときは、本会の議決により解散する。

(委任)

- 第16条 この会則に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

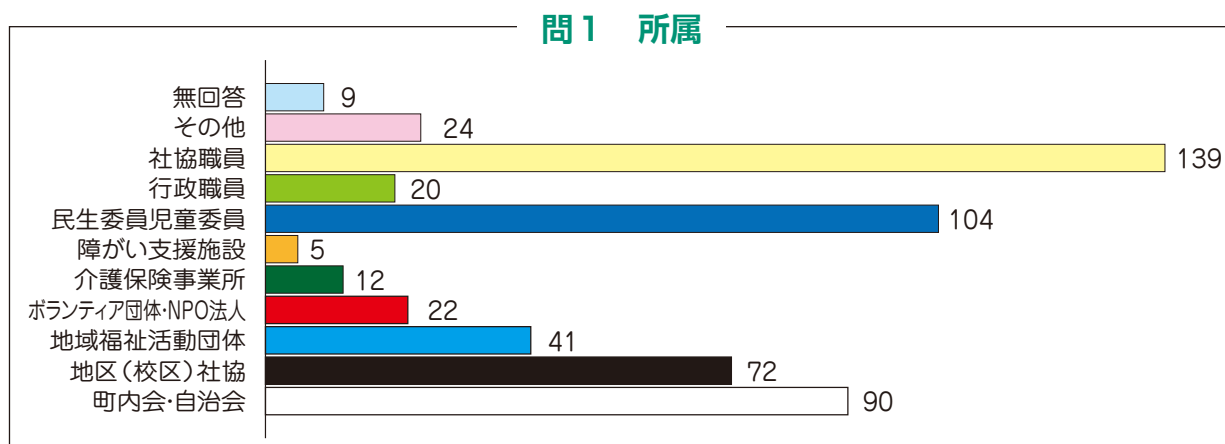
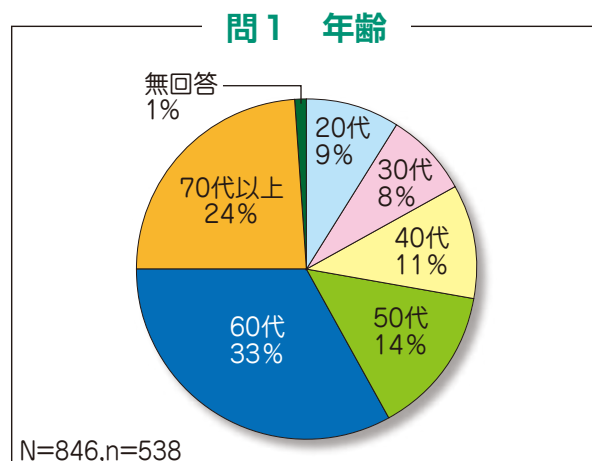
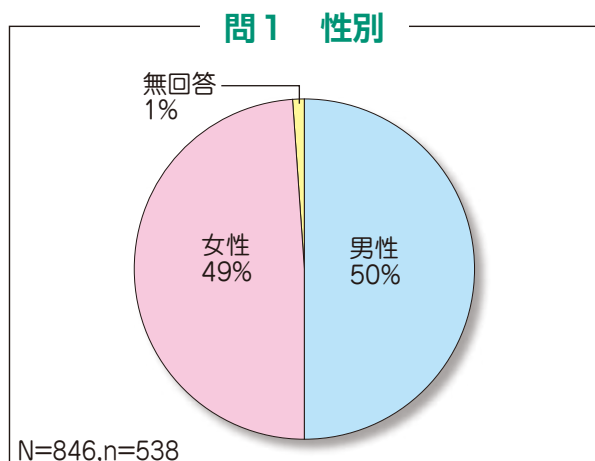
この会則は、平成28年10月19日から施行する。

データ

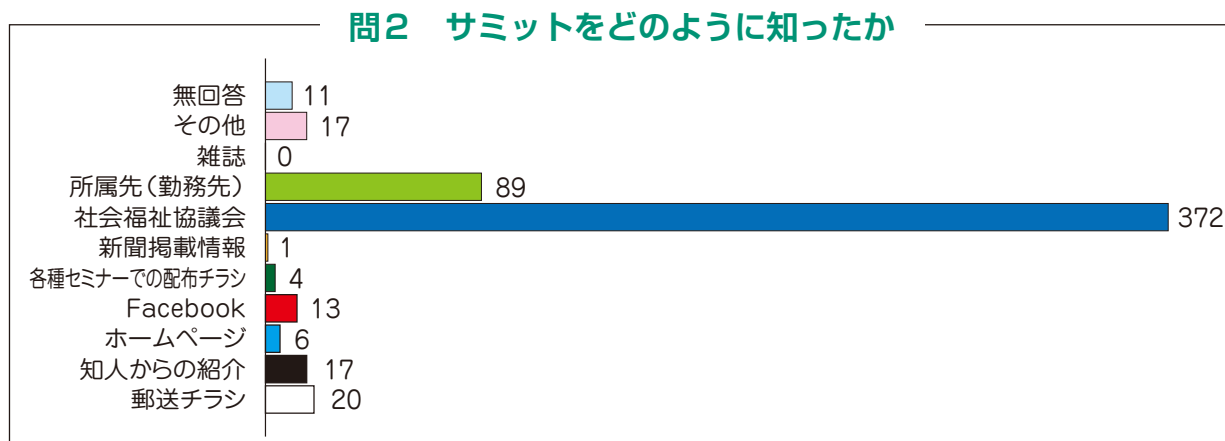
参加者アンケート結果

【サミット参加者アンケート】

参加者：846名 回答者数：538名（回答率63.6%）

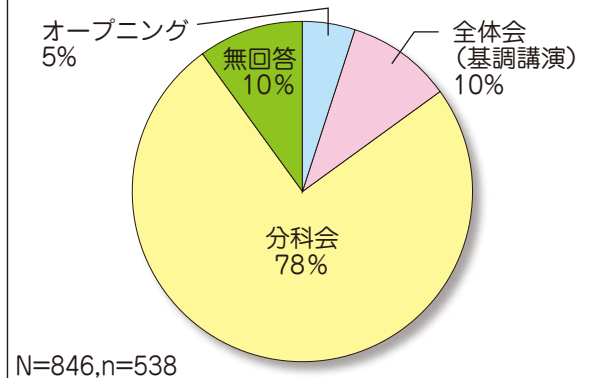


参加者の男性、女性の性別による偏りは見受けられない。社協職員の参加者が高く、次いで民生委員、町内会・自治会となっている。これらのことから、専門職や住民、福祉関係者など幅広い層が参加する大会となっている。

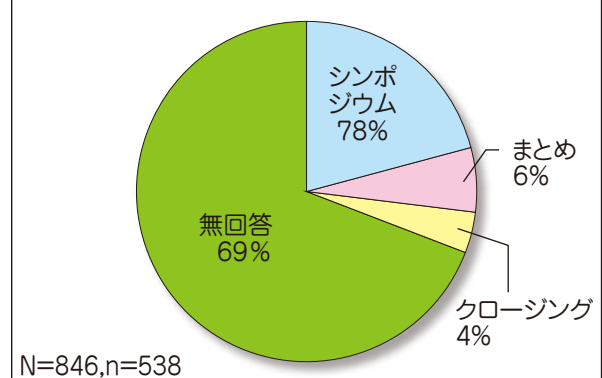


参加者の情報源としては社会福祉協議会、次いで勤務先が高い結果となっている。これからのことからメディアよりも人を介してサミットを知った方が多いことが窺える。

問3 もっとも印象に残ったプログラム【1日目】



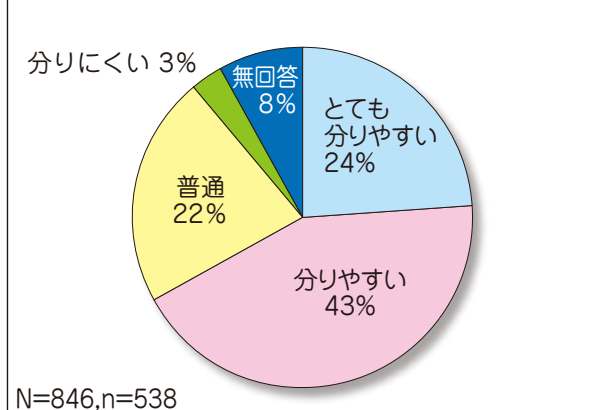
問3 もっとも印象に残ったプログラム【2日目】



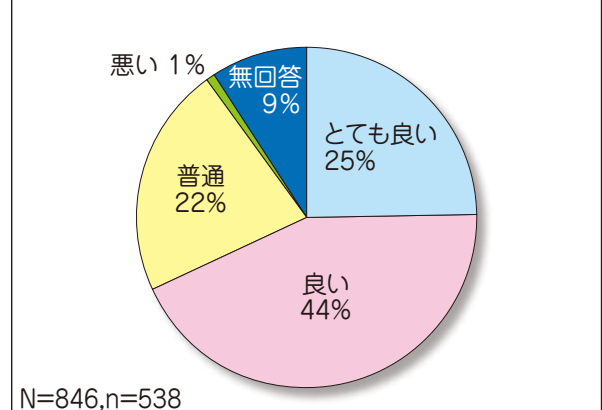
参加者の多くが1日目の分科会を印象に残ったプログラムとして回答している。その理由として、地域での実践について多くの示唆を得たことを挙げており、分科会ごとに企画した内容が参加者にとって充実したものとなったことが窺える。

2日目についてはシンポジウムも同様に事例に関する意見が多く目立つものの無回答が多く、アンケートの記述方法に工夫が必要であった。

問4 基調講演 分りやすさ

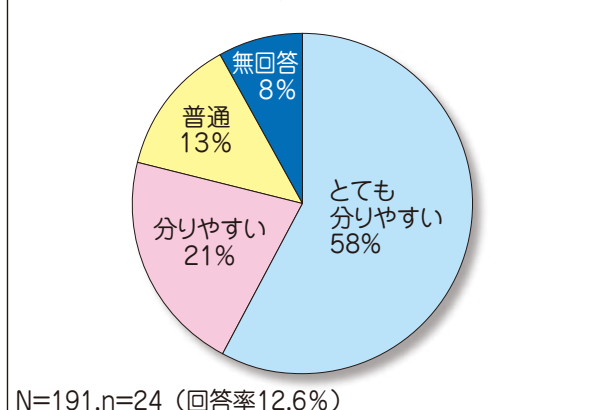


問4 基調講演 内容

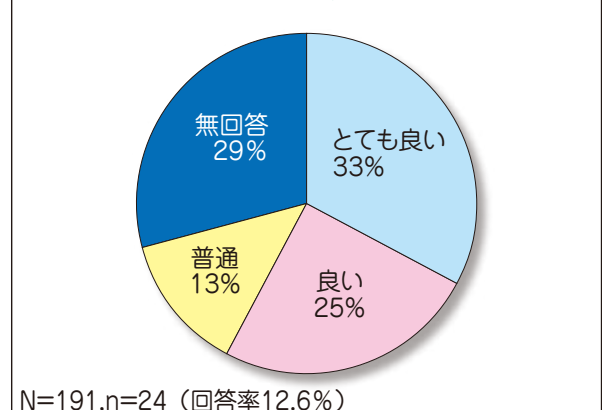


参加者の半数以上が基調講演の内容は「とても良い」「良い」と答えており、中身自体も「とても分かりやすい」「分りやすい」が多くなっている。参加者の感想としては、校区サミットの経緯に関する共感の声や、小地域福祉活動の必要性について再確認することができた等の意見が見られている。その他にも貴重講演の時間の短さを指摘する声もあり、時間的な配分については今後の課題といえる。

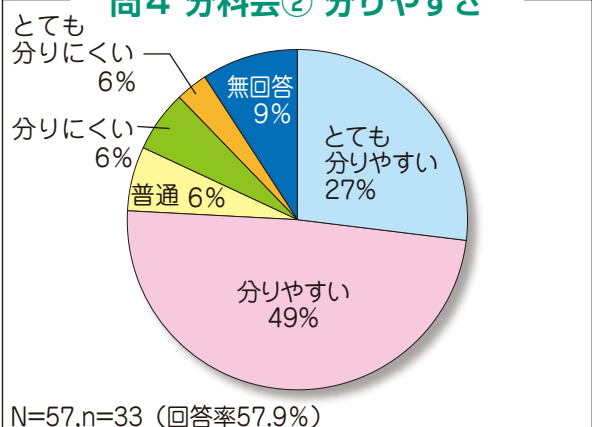
問4 分科会① 分りやすさ



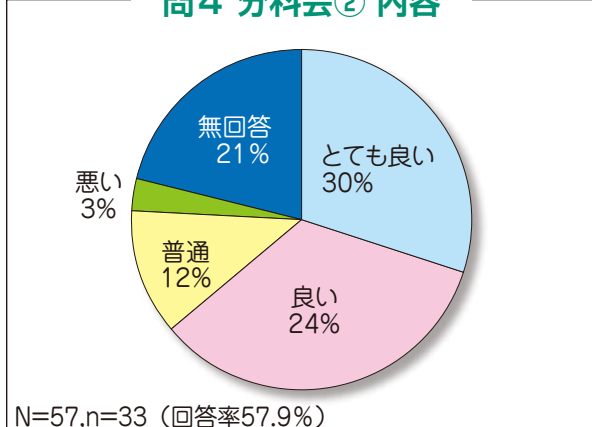
問4 分科会① 内容



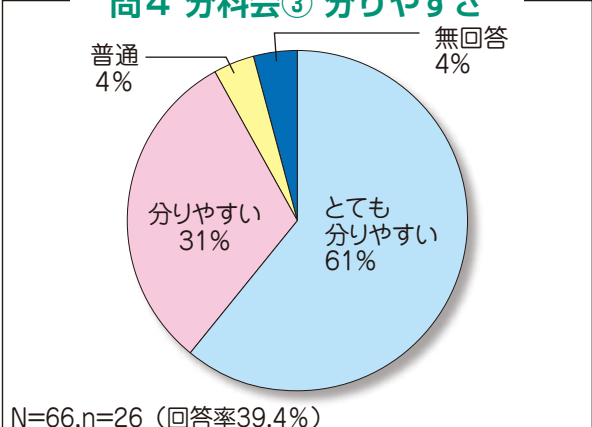
問4 分科会② 分りやすさ



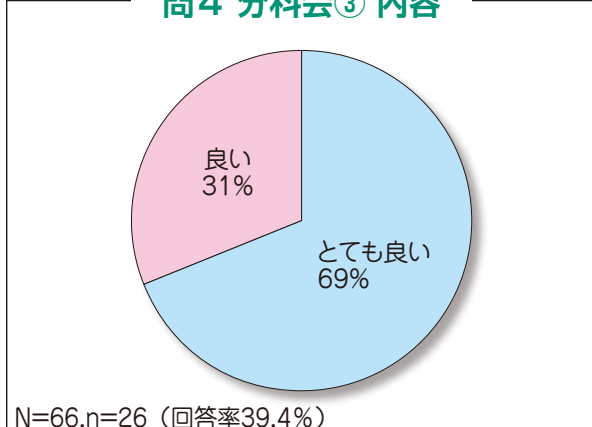
問4 分科会② 内容



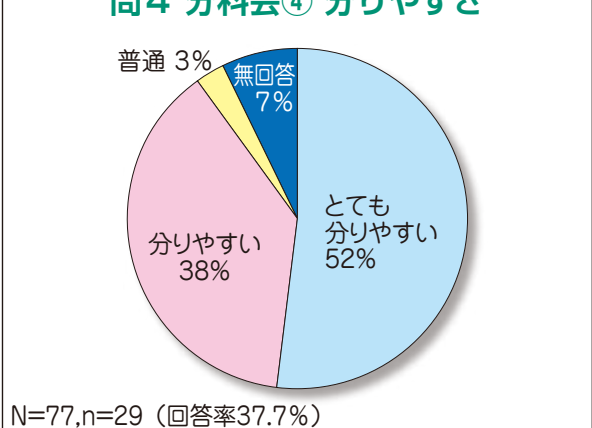
問4 分科会③ 分りやすさ



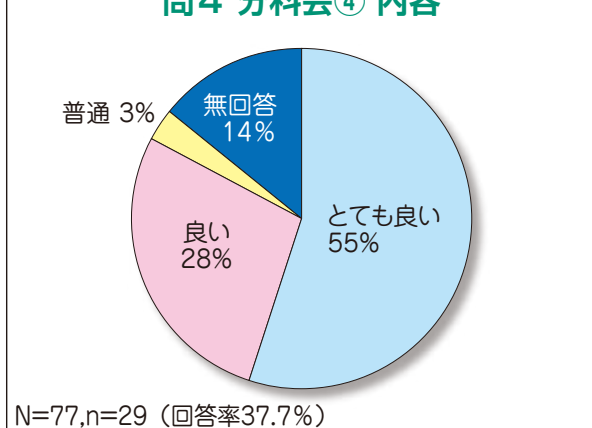
問4 分科会③ 内容



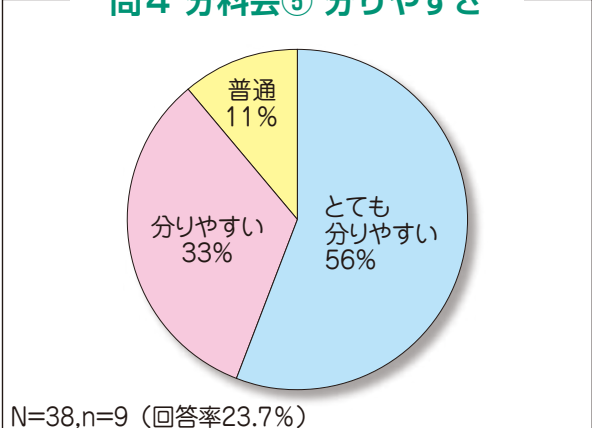
問4 分科会④ 分りやすさ



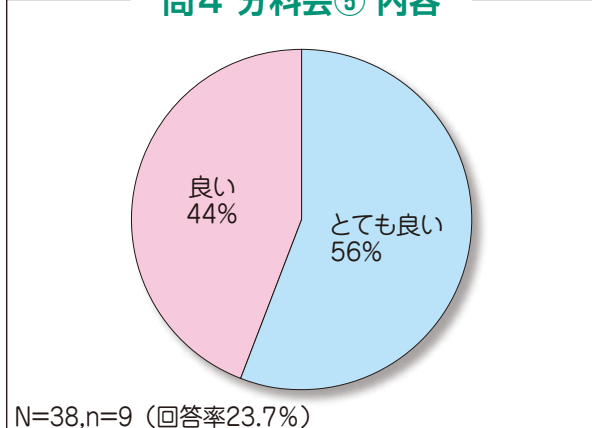
問4 分科会④ 内容



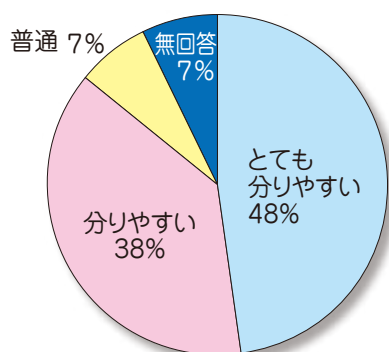
問4 分科会⑤ 分りやすさ



問4 分科会⑤ 内容

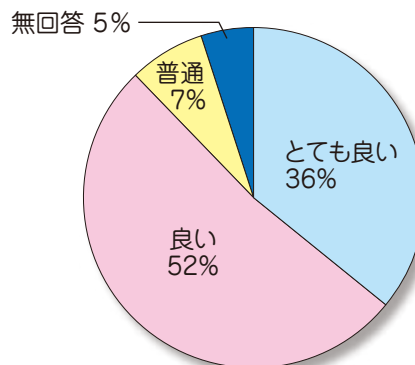


問4 分科会⑥ 分りやすさ



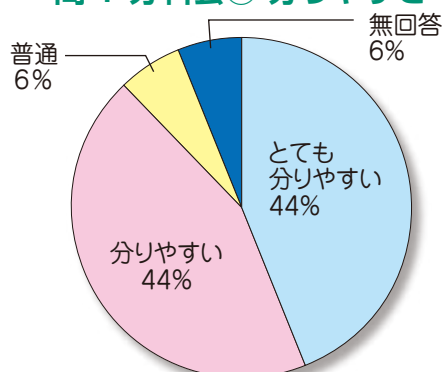
N=96,n=42 (回答率43.8%)

問4 分科会⑥ 内容



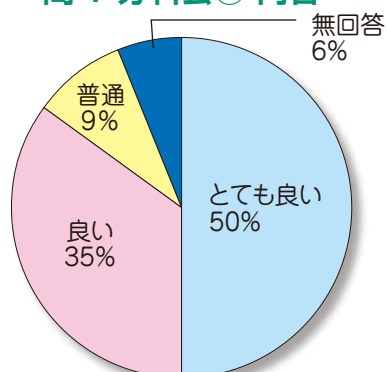
N=96,n=42 (回答率43.8%)

問4 分科会⑦ 分りやすさ



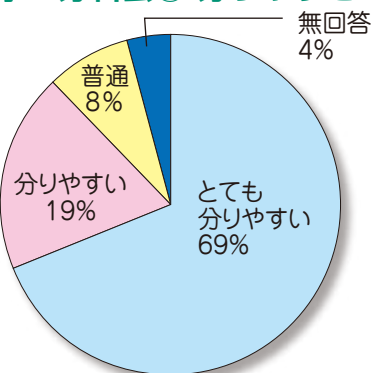
N=81,n=32 (回答率39.5%)

問4 分科会⑦ 内容



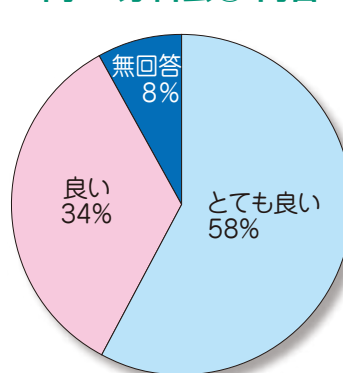
N=81,n=32 (回答率39.5%)

問4 分科会⑧ 分りやすさ



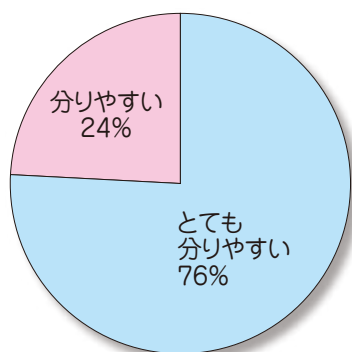
N=68,n=26 (回答率38.2%)

問4 分科会⑧ 内容



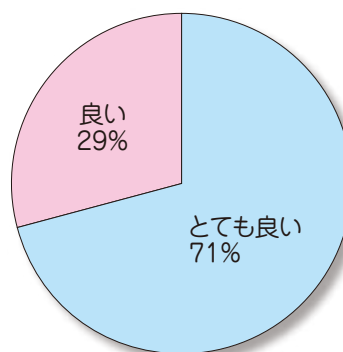
N=68,n=26 (回答率38.2%)

問4 分科会⑨ 分りやすさ



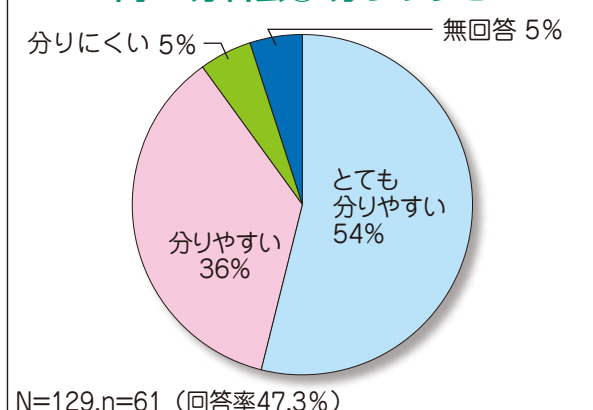
N=30,n=17 (回答率56.7%)

問4 分科会⑨ 内容

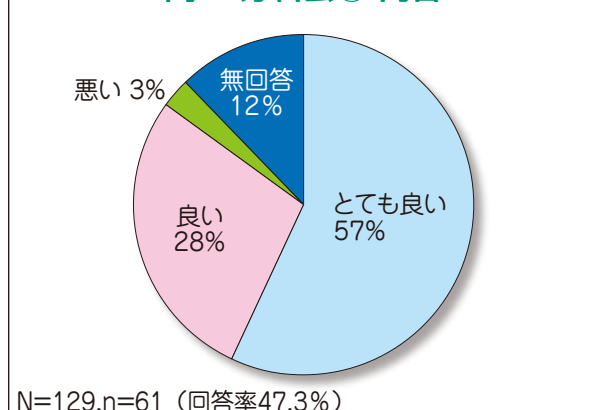


N=30,n=17 (回答率56.7%)

問4 分科会⑩ 分りやすさ

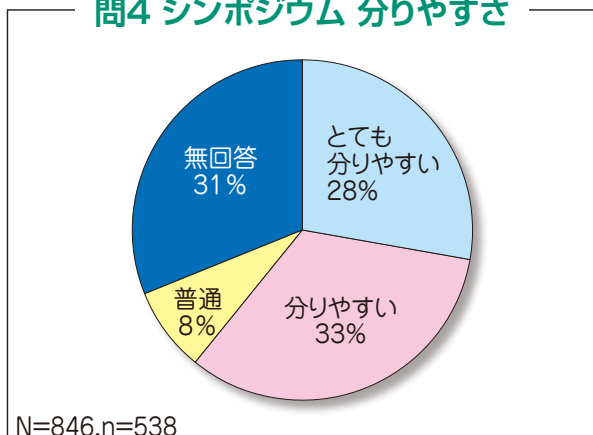


問4 分科会⑩ 内容

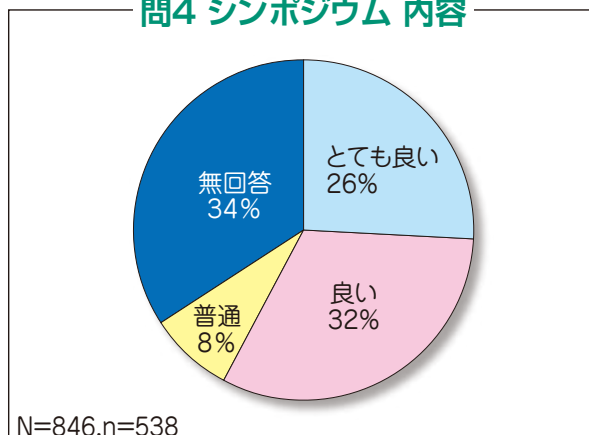


各分科会の内容は「とても良い」「良い」が多くを占め、「とても分りやすい」「分りやすい」と答えている。参加者の意見としては、実践報告や分科会の進行について好意的な評価が目立ち、各分科会とも参加者の満足度が高いものとなっていることがうかがえるほか、分科会での学びや気づきをもとに自地域での活動につなげていく意識の高揚が芽生えている。

問4 シンポジウム 分りやすさ



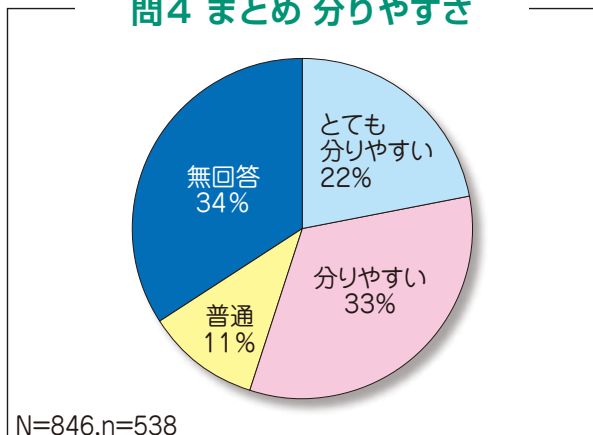
問4 シンポジウム 内容



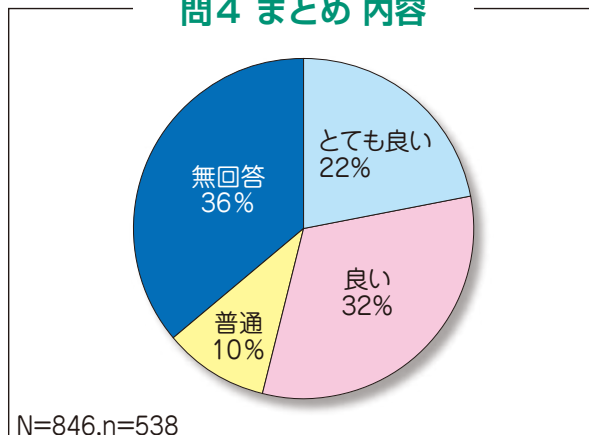
半数以上の参加者がシンポジウムの内容、分かりやすさともに「とても良い」「良い」、「とても分りやすい」「分りやすい」と答えている。参加者の意見にはシンポジストによる事例に関する好意的な意見が多く見受けられるほか、提供された事例を参考に自地域でも実践してみたいとの声が複数あり、実践の広がりにも好影響を与えた様子が感じられる。

また、シンポジストの発表時間が短いことを惜しむ声もあり、時間配分については今後の検討課題。

問4 まとめ 分りやすさ

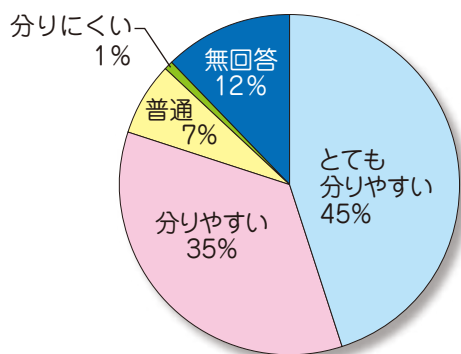


問4 まとめ 内容



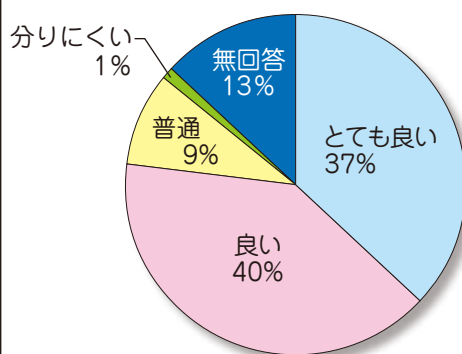
半数以上の参加者がまとめの内容、分かりやすさともに「とても良い」「良い」、「とても分りやすい」「分りやすい」と答えている。参加者の意見としては、分科会ごとの報告に関することやムービーについて良い心象をもっている内容が目立つ。

問6 運営評価（受付の対応）



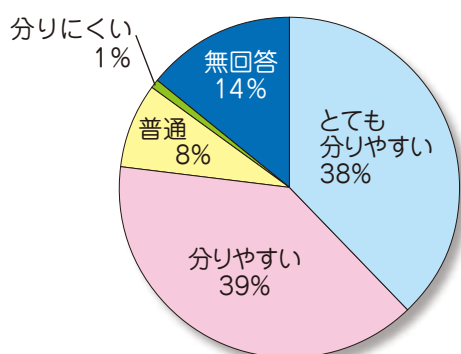
N=846,n=538

問6 運営評価（サミットの進行）



N=846,n=538

問6 運営評価（当日資料の内容）



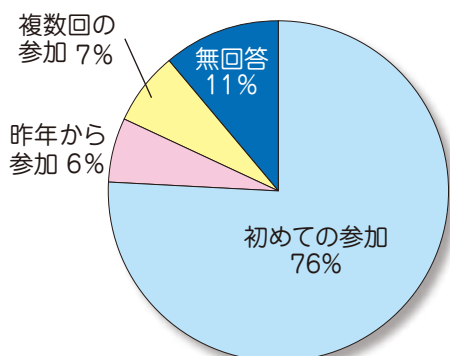
N=846,n=538

運営面では受付や進行、資料について多くの参加者が「とても分りやすい」「分りやすい」という回答をしていることから、参加者にとって満足度の高い運営が出来たことがうかがえる。

問5 次回取り上げてほしい内容・課題

- 地域ケアシステムと住民参加
- 引きこもり
- 発達障がい
- 地域の交流
- フードバンク、フードドライブ
- 自治会「組」組織
- 小規模自治体での取組
- 過疎化
- 居場所づくり
- 高齢化社会への対応
- 自治会、地区（校区）社協、まちづくり協議会の運営
- 権利擁護
- 市民後見人
- 福祉制度改革への対応
- 地域と多様な組織との連携
- 子どもの貧困
- 防災
- 郷土愛と排他性

問7 サミット参加回数



N=846,n=538

今回のサミットでは初めての参加者が半数を超えている。

第11回 全国校区・小地域福祉活動サミット in NIKKO アンケート

このたびは「第11回全国校区・小地域福祉活動サミット in NIKKO」にご参加いただき、ありがとうございます。今後のより良い企画と運営に活かすためにも、皆様のご意見・ご感想をお聞かせいただきたく、アンケートへのご協力をお願いいたします。

※両日参加の方は2日目のプログラム終了後、1日のみ参加の方はその日のプログラム終了後にご提出をお願い致します。

《 以下の設問で、あてはまるものに○印をおつけください 》

問1. あなたのことについて教えてください。

【性別】 1. 男性 2. 女性

【年齢】 1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

【所属】 1. 町内会・自治会 2. 地区（校区）社協 3. 地域福祉活動団体
4. ボランティア団体・NPO法人 5. 介護保険事業者 6. 障がい支援事業所
7. 民生委員・児童委員 8. 行政職員 9. 社協職員
10. その他（ _____ ）

問2. あなたは、このサミットをどのような方法でお知りになりましたか？

1. 郵送チラシ 2. 知人からの紹介 3. ホームページ 4. Facebookページ
5. 各種セミナーでの配布チラシ 6. 新聞掲載情報 7. 社会福祉協議会
8. 所属先（勤務先） 9. 雑誌（雑誌名： _____ ）
10. その他（ _____ ）

問3. もっとも印象に残ったプログラムをお聞かせください。

【1日目】 1. オープニング 2. 全体会（基調講演） 3. 分科会
【2日目】 4. 全体会（シンポジウム） 5. まとめ 6. クロージング

【上記の理由】

.....
.....
.....

問4. 各プログラムの内容についてのご感想をお聞かせください。

基調講演：「小地域の“モト”」

【分かりやすさ】

1. とても分かりやすい 2. 分かりやすい 3. ふつう 4. 分かりにくい 5. とても分かりにくい

【内容】

1. とても良い 2. 良い 3. ふつう 4. 悪い 5. とても悪い

【その他ご意見】

.....
.....
.....

▼裏面につづきます▼

分科会 (①. ②. ③. ④. ⑤. ⑥. ⑦. ⑧. ⑨. ⑩) (※参加した分科会の番号に○印をおつけください)

【分かりやすさ】
1. とても分かりやすい 2. 分かりやすい 3. ふつう 4. 分かりにくい 5. とても分かりにくい

【内容】
1. とても良い 2. 良い 3. ふつう 4. 悪い 5. とても悪い

【その他ご意見】
.....
.....
.....

シンポジウム：「実践！小地域活動！！」

【分かりやすさ】
1. とても分かりやすい 2. 分かりやすい 3. ふつう 4. 分かりにくい 5. とても分かりにくい

【内容】
1. とても良い 2. 良い 3. ふつう 4. 悪い 5. とても悪い

【その他ご意見】
.....
.....
.....

まとめ

【分かりやすさ】
1. とても分かりやすい 2. 分かりやすい 3. ふつう 4. 分かりにくい 5. とても分かりにくい

【内容】
1. とても良い 2. 良い 3. ふつう 4. 悪い 5. とても悪い

【その他ご意見】
.....
.....
.....

問5. 次回のサミットで取り上げてほしい内容・課題ほかお気づきの点などあればお聞かせください。

.....
.....
.....

問6. サミットの運営等について、評価をお聞かせください。

- 【受付の対応】 1. とても良い 2. 良い 3. ふつう 4. 悪い 5. とても悪い
- 【サミットの進行】 1. とても良い 2. 良い 3. ふつう 4. 悪い 5. とても悪い
- 【当日資料の内容】 1. とても良い 2. 良い 3. ふつう 4. 悪い 5. とても悪い

問7. サミットの参加について、お聞かせください。

1. 初めての参加 2. 昨年から参加 3. 複数回の参加 (回目)

ご協力ありがとうございました

事業計画

事業計画(開催要綱)

事業計画

1. 名 称
第11回全国校区・小地域福祉活動サミット in NIKKO
2. 開催趣旨
身近な地域で支え合う「小地域福祉活動」は、すべての人々の役割を創出するだけでなく、地域社会のつながりを強めるためにも意義のある取り組みです。これらの活動には、そこで暮らす様々な人たちが同じ地域の仲間として、つながりや思いやりをもって主体的に取り組んでいくことが大切です。
このサミットは、小地域地域福祉活動に取り組む実践者同士の交流の場、全国の取り組みを学ぶ場です。このサミットの場を通して、参加した方々が地域への「誇り」を再確認し、さらなる活動への意欲を高める機会となることを目的として開催します。
3. 主 催
第11回全国校区・小地域福祉活動サミット in NIKKO
実行委員会
日光市社会福祉協議会
4. 共 催
日光市、栃木県社会福祉協議会、
栃木県共同募金会、宇都宮大学、
小地域福祉活動を楽しむ全国ネットワーク
5. 後 援
厚生労働省、全国社会福祉協議会、栃木県、
下野新聞社
6. 日 時
平成29年11月30日(木) 12時30分～17時15分
12月 1日(金) 9時00分～12時00分
7. 会 場
日光市藤原総合文化会館
日光市鬼怒川温泉大原1404-1 Tel.0288-76-1201
きぬ川ホテル三日月
日光市鬼怒川温泉大原1400 Tel.0288-77-2611
8. 参加者
小地域福祉活動に関心のある方、自分のまちを良くしたいという思いをもった方
1,000名(定員)
9. 参加費
6,000円(両日参加・一日参加とも)
※宿泊費、交流会費は含まない。
10. 企画構成(案)
【1日目】
11:30～12:30 受付 / 藤原総合文化会館
12:30～12:45 オープニング / 藤原総合文化会館
12:45～13:45 基調講演 / 藤原総合文化会館
13:45～14:15 移動(各会場へ移動)
14:15～17:15 分科会 / 各会場(10分科会)
18:00～20:00 交流会

【2日目】
8:30～ 9:00 受付 / 藤原総合文化会館
9:00～10:45 シンポジウム / 藤原総合文化会館
10:45～11:30 まとめ / 藤原総合文化会館
11:30～12:00 クロージング / 藤原総合文化会館
11. 事務局
第11回全国校区・小地域福祉活動サミット in NIKKO
実行委員会
日光市今市 511-1 日光市社会福祉協議会内
TEL.0288-21-2759 FAX.0288-21-3110